

Oracle8 for Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2

リリース・ノート

リリース 8.0.6 Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2

1999 年 12 月

部品番号: J00613-01

このリリース・ノートは、Oracle8 for Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 のリリース 8.0.6 に添付されています。

このリリースは完全なソフトウェア配布媒体で、パッチ・リリースではありません。配布媒体は、新しい ORACLE_HOME ディレクトリにインストールされます。

このリリース・ノートの内容は、次のとおりです。

- アップグレードおよびダウングレード・スクリプトの新しい命名規則
- システム要件の概要
- システム要件の訂正
- インストレーションに必要なもの
- Parallel Server Option に必要なもの
- エラー・メッセージのドキュメンテーション
- インストレーションの制限事項
- プリコンパイラの制限事項
- Parallel Server Option の制限事項
- Oracle8 リリース 8.0.6 の内容



Oracle と Oracle のロゴ、SQL*Net および SQL*Plus は Oracle Corporation の登録商標です。Oracle Applications、Oracle7、Oracle8、Oracle Installer、Oracle Office、Oracle Server、Oracle Workflow、Oracle Web Application Server、Oracle WebServer は、Oracle Corporation の商標です。記載されているその他の製品名および社名はその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれ該当する所有者の商標です。

アップグレードおよびダウングレード・スクリプトの新しい命名規則

Oracle8 リリース 8.0.5 では、アップグレードおよびダウングレード・スクリプトの命名規則が新しくなります。スクリプト名には、CAT*.SQL 形式をしません。新しい命名規則のスクリプトでは、あるリリースから別のリリースへ直接移行するパスを提供しています。アップグレード用のスクリプトには U*.SQL 形式、ダウングレード用のスクリプトには D*.SQL 形式の名前が付いています。次の 2 つの表に、アップグレード用およびダウングレード用の新しいスクリプト名を示します。

表 1 アップグレード・スクリプト

8.0.6 へアップグレードする対象	実行するスクリプト
8.0.2	U0800020.SQL
8.0.3	U0800030.SQL
8.0.4	U0800040.SQL
8.0.5	U0800050.SQL

表 2 ダウングレード・スクリプト

8.0.6 からダウングレードする対象	実行するスクリプト
8.0.3	D0800030.SQL
8.0.4	D0800040.SQL
8.0.5	D0800050.SQL

システム要件の概要

このリリース・ノートでリストしている要件は、『Oracle8 for Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 インストレーション・ガイド』の第 1 章にある「システム要件」の概要です。

表 3 システム要件

項目	最小要件
ディスク容量	700 MB
メモリー	96 MB

システム要件の訂正

『Oracle8 for Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 インストレーション・ガイド』の表 1-2 のオペレーティング・システム・ソフトウェア要件に、次のとおり、訂正があります。

OS ソフトウェア	要件
Window Manager	Hitachi Motif 1.2 (01-07) 以上

インストレーションに必要なもの

Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 システムに Oracle Server リリース 8.0.6 をインストールする場合は、次のものを準備する必要があります。

- Oracle8 Server リリース 8.0.6 CD-ROM
この CD-ROM には、このリリースのソフトウェアおよびシステム固有のドキュメンテーションが含まれています。CD 挿入には、CD-ROM のマウント方法の説明があります。
- 『Oracle8 for Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 インストレーション・ガイド』および『Oracle8 for Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 管理者リファレンス』
このリリースの上記のマニュアルは、出版物で、また、PDF および HTML フォーマットで Oracle8 Server CD-ROM に含まれています。CD 挿入に、CD-ROM で提供されている HTML ブラウザの使い方が説明されています。
- README.FIRST ファイル
このファイルには、このリリースの最新情報および制限事項が記述されています。Oracle Installer を起動すると、このファイルが表示されます。注意してよくお読みください。

『Oracle8 for Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 インストレーション・ガイド』の付録 B では、インストール中に必要な UNIX コマンドが説明されています。

『Oracle8 Server 移行ガイド』は、既存の Oracle データベースを移行およびアップグレードする場合に利用します。このマニュアルは、出版物および Oracle8 ドキュメンテーション CD-ROM で提供されています。

Oracle8 ドキュメンテーション CD-ROM には、それぞれの Oracle 製品のドキュメンテーションがすべて含まれていますが、インストールに必須なものではありません。CD-ROM 挿入に入手可能なマニュアル名がリストされています。

Parallel Server オプションに必要なもの

Multi Server/Lock Manager 03-01 をインストールし、構成する必要があります。Multi Server/Lock Manager は、他の Oracle8 ドキュメントでは、Node Monitor (NM) としても参照されています。

エラー・メッセージのドキュメンテーション

リリース 8.0.6 製品で表示されるすべてのエラー・メッセージは、『Oracle8 Server エラー・メッセージ』に記述されています。

インストールの制限事項

Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 に Oracle8 Server をインストールして使う場合には、次のような制限事項があります。使用方法に関する制限事項および制約事項は、ここでは取り扱っていません。Oracle8 Server を使う前に、`$ORACLE_HOME/rdbms/doc` ディレクトリにある README ファイルを参照してください。Oracle8 Server 配布媒体に含まれる他の製品の README ファイルは、各製品の doc または admin/doc ディレクトリにあります。

インストールの際に、表示される製品一覧の中で、バージョンが正しく表示されない製品がいくつかあります。

Oracle7 からの移行

このリリースに含まれている移行ユーティリティを使って、Oracle7 Server リリース 7.1 以上から Oracle8 へ移行できます。リリース 7.0 のデータベースから Oracle8 へ移行する場合は、この移行ユーティリティを使用できません。

Pro*COBOL

Pro*COBOL 8.0.6 では、次の文でプリコンパイル・エラーが発生します。プリコンパイル・エラーを回避するには、プログラムを変更するか、または Pro*COBOL 1.8 を使用してください。

USAGE NATIONAL

CHARACTER TYPE

USAGE BIT

USAGE OBJECT

USAGE VARIANT

ADDRESSED BY

INCLUDE

プリコンパイラの制限事項

環境変数 ORA_NLS33 をセットし、かつ、NLS_LANG を American_America.US7ASCII 以外に設定している場合には、次のサンプル・プログラムをコンパイルできません。

```
$ORACLE_HOME/precomp/demo/procob/sample9.pco  
$ORACLE_HOME/precomp/demo/procob/sample11.pco  
$ORACLE_HOME/precomp/demo/procob2/sample9.pco  
$ORACLE_HOME/precomp/demo/procob2/sample11.pco  
$ORACLE_HOME/precomp/demo/proc/sample9.pc  
$ORACLE_HOME/precomp/demo/proc/sample11.pc  
$ORACLE_HOME/precomp/demo/profor/sample9.pfo  
$ORACLE_HOME/precomp/demo/profor/sample11.pfo
```

対処法

コンパイル時は、環境変数 ORA_NLS33 を解除するか、または、環境変数 NLS_LANG を American_America.US7ASCII に設定してください。

Parallel Server Option の制限事項

Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 上で Oracle8 Server Parallel Server Option を使用する
場合、次の制限事項があります。

異常終了

次の条件が、2 つとも真である場合に、Oracle インスタンスは ORA-313 または
ORA-340 エラーで異常終了します。

1. Logical Volume Manager (LVM) を使用する。
2. 物理メモリーが不足している。

対処法

この問題に対処するには、次のうち、いずれか 1 つを実行してください。

1. 物理メモリーを増設する。
2. `sam` コマンドを使用して、カーネル・サイズを削減する。
3. 物理ボリューム数を減らす、または LVM 拡張サイズを増大させることで、
LVM が使用する物理メモリー容量を削減する。
4. LVM の使用を止める。

システムの起動

システム起動の直後に `ogms` と Oracle インスタンスを起動すると、次のいずれかの
問題が発生する可能性があります。

1. Oracle インスタンスが、ORA-29702 エラーで始動に失敗する。
2. Oracle インスタンスが、始動中に停止する。

対処法

この問題に遭遇した場合は、次の手順を実行してください。

1. `abort` を使用して、インスタンスをシャットダウンする。
2. ノード上の `ogms` をシャットダウンする。

3. ノード上の ogms を起動する。
4. Oracle インスタンスを起動する。

この問題が発生する可能性を最小限にするために、次の手順を実行してください。

1. システム起動の 60 秒後に、ogms を起動する。
2. ogms 起動の 60 秒後に、Oracle インスタンスを起動する。

Parallel Server Option のインストール

Parallel Server Option (PSO) と Advanced Network Option (ANO) を、Installer の同一セッションで、インストールすることはできません。そうすると、ORA-1033 エラーでインストールが失敗します。

対処法

この問題を回避するためには、2 つの Installer セッションを使用してください。最初の Installer セッションで PSO をインストールし、次の Installer セッションで ANO をインストールします。

Oracle Parallel Server Management のコンポーネント (OPSM)

OPSM は、Hitachi 3050RX/3500 HI-UX/WE2 上の Oracle8 Parallel Server Option のリリース 8.0.6 では、サポートされていません。

データベース回復

ARCHIVELOG モードでデータベースを使用するときは、`init.ora` のパラメータ `THREAD` に、0 以外の値を明示的に設定してください。そうしなければ、データベース回復がむずかしくなります。

マルチ・スレッド・サーバー (MTS)

MTS と PSO を使用中に、システムが停止しないように、次の公式を使用して下記 `init.ora` パラメータの値を制限ください。

パラメータ値: `MTS_MAX_SERVERS`

パラメータ値: `TRANSACTIONS`

公式: `MTS_MAX_SERVERS >= TRANSACTIONS`

Lamport Clock

Oracle7 Server リリース 7.3.3 以後、Lamport Clock による新しい機能が導入されました。Lamport Clock によって、トランザクションのパフォーマンスが向上します。Lamport Clock を使用可能あるいは使用不能にするには、`init.ora` のパラメータ `MAX_COMMIT_PROPAGATION_DELAY` の値を、次の表に従って設定してください。デフォルト値は、90000 です。

表 4 `MAX_COMMIT_PROPAGATION_DELAY` の値

値	遅延時間 (秒)	Lamport Clock
<code>v=0</code>	0	No
<code>0<v<300</code>	<code>v/100</code>	No
<code>300<=v<=700</code>	3	No
<code>v>700</code>	6	Yes

値の列は、`init.ora` のパラメータ `MAX_COMMIT_PROPAGATION_DELAY` の、多様な値を示しています。遅延時間の列は、1 つのインスタンスでコミットが発生してから、他のすべてのインスタンスでコミットが有効になるまでの最大の遅延時間を表します。Lamport Clock の列は、Lamport Clock が使用可能であるかどうかを示しています。

Oracle8 Server リリース 8.0.6 の内容

表 5 Oracle8 の内容

製品名	備考
サーバー、カートリッジおよびオプション	
Advanced Replication 8.0.6	Oracle8 Server と同時にインストールされます。
Distributed Database 8.0.6	Oracle8 Server と同時にインストールされます。
Oracle8 ConText Cartridge 2.4.6	
Oracle8 Image Cartridge 8.0.6	
Oracle8 Objects Option 8.0.6	Oracle8 Enterprise Edition でのみ使用可能です。
Oracle8 Parallel Server Option 8.0.6	Oracle8 Enterprise Edition でのみ使用可能です。
Oracle8 Partitioning Option 8.0.6	Oracle8 Enterprise Edition でのみ使用可能です。
Oracle8 Server 8.0.6	
Oracle8 Spatial Cartridge 8.0.6	Oracle8 Enterprise Edition でのみ使用可能です。
Oracle8 Time Series Cartridge 8.0.6	Oracle8 Enterprise Edition でのみ使用可能です。
Parallel Query 8.0.6	Oracle8 Server と同時にインストールされます。
PL/SQL 8.0.6	
Tools 製品およびプリコンパイラ	
Object Type Translator 8.0.6	
Oracle Call Interface 8.0.6	Oracle8 Server と同時にインストールされます。
Oracle On-Line Text Viewer 1.0.1.0	
Oracle Server Manager 3.0.6	
Oracle UNIX Installer 4.0.3	
Pro*C/C++ 8.0.6	
Pro*COBOL 1.8.28	
Pro*COBOL 8.0.6	
Pro*FORTRAN 1.8.28	
SQL*Plus 8.0.6	

製品名	備考
ネットワーク製品およびシステム管理製品	
Oracle Intelligent Agent 8.0.6	
Oracle Names 8.0.6	Oracle Net8 と同時にインストールされます。
Oracle Net8 8.0.6	Oracle Net8 と同時にインストールされます。
Oracle Security Server 2.0.4	Oracle Net8 と同時にインストールされます。
Oracle TCP/IP Protocol Adapter 8.0.6	
Oracle Trace Collection Services 8.06	Oracle Net8 と同時にインストールされます。
Oracle8 Advanced Networking Option: Security and Sign-On 8.0.6	
Oracle8 Advanced Networking Option: Security - Export Version 8.0.6	
OSS Authentication Adapter 2.0.4	Oracle Net8 と同時にインストールされます。
OSS Repository 2.0.4	Oracle Net8 と同時にインストールされます。
OSS Toolkit 2.0.4	Oracle Net8 と同時にインストールされます。